

令和 7 年度
消防設備保守点検委託業務

仕 様 書

[令和 7 年 3 月]

国頭地区行政事務組合

【施設名：やんばる環境センター・やんばる美化センター】

令和 7 年度 消防設備保守点検委託業務

仕 様 書

1. 基本事項

本業務は、国頭地区行政事務組合が管理する建築物（やんばる環境センター・やんばる美化センター）の消防設備を適正に維持保全するために必要な、点検及び保守等の保全業務を本仕様書により、円滑に実施するものである。

2. 消防設備保守点検業務概要

(1) 消火器	一式
(2) パッケージ型消火設備	一式
(3) 自動火災報知器	一式
(4) 非常放送設備	一式
(5) 誘導灯及び誘導標識	一式
(6) 火災通報装置	一式
(7) 屋内消火栓設備	一式
(8) 配線点検	一式

※別紙 1 ～別紙 2 参照

3. 業務名

令和 7 年度 消防設備保守点検委託業務

4. 履行場所

- 1) 国頭村字宇嘉 1179-416（やんばる環境センター）
- 2) 国頭村字宇嘉 1179-402（やんばる美化センター）

5. 履行期間

- 1) 令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 2 月 27 日まで

6. 保守点検

(1) 点検内容及び方法

消防用設備の点検は、消防法第 17 条の 3 の 3、及び消防法施行規則第 31 条の 6 の規定に基づき、「消防設備等の点検の基準及び消防用設備等点検報告書に添付する点検標の様式（昭和 50 年消防庁告示第 14 号）」及び「消防法施行規則の規定に基づき消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の結果についての様式（昭和 50 年消防庁告示第 3 号）」に定めるところにより適正に行い、必要に応じて、保守、修理その他の措置を講じるものとする。

機能点検	1 回／6 ヶ月
機能点検及び総合点検	1 回／1 年

なお、消防法施行規則の一部改正（平成 14 年総務省令第 105 号）に伴う事項については、関係告示の定めるところによること。

自家用発電設備については、保安規定（電気事業法 42 条）、建築基準法及び消防法の定めるところにより適正に点検を実施し、必要に応じて、保守、修理その他の措置を

講じるものとする。

(2) 年間定期点検作業計画

関係者と密接な協議調整のうえ、年度当初に点検作業における日時・要領・仮設・安全等の計画を立て、作業の円滑を図ること。

(3) 一般事項

点検を行うにあたっては、関係者と十分協議し危害発生の防止を図るとともに当点検に係る設備の概要、状態等を十分把握する。

点検終了は、電源電圧の確認、スイッチ類の位置、収納状態を再確認することにより必ず元の状態に復元しておくものとし、機器類は、点検と同時に清掃を行うこと。

(4) 点検資格者

点検を行う者は、消防設備士免状の交付を受けている者又は総務大臣が認める資格を有する者とし、点検作業中は、消防設備士免状等を携帯していること。

(消防法第17条の3の3、第17条の13)

自家用発電設備の点検については、自家用発電設備専門技術者が行うこと。

((社) 日本内燃力発電設備協会)

(5) 受注者の負担の範囲

イ. 点検に必要な工具、計測器機等の機材は、設備機器に付属して設置されているものを除き、受注者の負担とする。

ロ. 保守に必要な消耗部品又は材料・油脂等は、受注者の負担とする。

ハ. 清掃に必要な資機材は、受注者の負担とする。

(6) 異常時の対処、臨機の措置

保守点検期間中及び点検時に、機器等に以上が認められた場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、施設管理者に通報し対応方法等について協議すること。

7. 業務の安全衛生管理

業務担当者の安全衛生に関する事項については、業務責任者が関係法令に従って管理を行う。また業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には、必要な安全措置を講じ事故防止に努めること。

8. 成果品

1) 消防用設備等点検結果報告書・・・2式(正・副)

9. 法令等の遵守

受注者は、業務の実施にあたり、消防法関係法令、その他の関係する法令、規則、指針等に従うものとする。

10. 秘密の保持

受注者は、業務の遂行上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。また、第三者証明機関としての中立性を厳守しなければならない。

11. 補償費用等

本業務に伴い、立入り調査等のため補償の必要性が生じた場合は別途その扱いを協議する。

12. 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当たって、発注者の契約約款に定める書類の他、下記の書類を提出するものとする。

- 1) 着手届
- 2) 工程表
- 3) 完了届
- 4) その他必要な書類

なお、承諾された事項を変更する場合は、その都度承諾を受けなければならない。

13. 検 査

本業務は発注者の検査合格をもって完了とする。

なお、納品後に成果品に記入漏れ、不備又は誤りが発見された場合、受注者は速やかに訂正しなければならない。

14. 資料の貸与

発注者は、業務に必要な資料を所定の手続によって貸与するものとする。

15. 疑 義

本仕様書の記載事項及び業務遂行上において疑義が生じた場合は、発注者、受注者協議の上、誠意を持って業務を遂行するものとする

別紙 1

施設名称：やんばる環境センター

消防設備の種類		定期点検期間	
		機器点検	総合点検
○	自動火災報知設備	年 1 回	年 1 回
	防排煙設備	年 1 回	年 1 回
	防排煙制御設備	年 1 回	年 1 回
	スプリンクラー設備	年 1 回	年 1 回
○	屋内消火栓設備	年 1 回	年 1 回
	屋外消火栓設備	年 1 回	年 1 回
	泡消火栓設備	年 1 回	年 1 回
	粉末消火栓設備	年 1 回	年 1 回
	不活性ガス化物消火設備	年 1 回	年 1 回
	ハロゲン化物消火設備	年 1 回	年 1 回
	パッケージ型消火設備	年 1 回	年 1 回
	水噴霧消火設備	年 1 回	年 1 回
	連結送水管設備	年 1 回	年 1 回
	連結散水設備	年 1 回	年 1 回
○	非常放送設備（非常警報）	年 1 回	年 1 回
○	誘導灯設備	年 1 回	年 1 回
	避難設備	年 1 回	年 1 回
○	消火器	年 1 回	年 1 回
○	消防機関へ通報する火災報知設備	年 1 回	年 1 回
	ガス漏れ火災警報設備	年 1 回	年 1 回
	非常電源（自家発電設備）※外観点検	年 1 回	年 1 回
	非常電源（専用受電設備）※外観点検	年 1 回	年 1 回
	非常コンセント設備	年 1 回	年 1 回

実施対象設備：消防設備の種類の内○印箇所

施設名称：やんばる美化センター

消防設備の種類		定期点検期間	
		機器点検	総合点検
○	自動火災報知設備	年1回	年1回
	防排煙設備	年1回	年1回
	防排煙制御設備	年1回	年1回
	スプリンクラー設備	年1回	年1回
	屋内消火栓設備	年1回	年1回
	屋外消火栓設備	年1回	年1回
	泡消火栓設備	年1回	年1回
	粉末消火栓設備	年1回	年1回
	不活性ガス化物消火設備	年1回	年1回
	ハロゲン化物消火設備	年1回	年1回
○	パッケージ型消火設備	年1回	年1回
	水噴霧消火設備	年1回	年1回
	連結送水管設備	年1回	年1回
	連結散水設備	年1回	年1回
○	非常放送設備（非常警報）	年1回	年1回
○	誘導灯設備	年1回	年1回
	避難設備	年1回	年1回
○	消火器	年1回	年1回
○	消防機関へ通報する火災報知設備	年1回	年1回
	ガス漏れ火災警報設備	年1回	年1回
	非常電源（自家発電設備）※外観点検	年1回	年1回
	非常電源（専用受電設備）※外観点検	年1回	年1回
	非常コンセント設備	年1回	年1回

実施対象設備：消防設備の種類の内○印箇所